

## 【基本目標Ⅱ 男女があらゆる分野へ参画できる社会づくり】

### 評価の目安

- A：達成された（90%以上）
- B：概ね達成された（80%以上）
- C：あまり達成されていない（60%以上）
- D：達成されていない（60%未満）

### 施策の方向1 政策・方針決定の場への女性参画の拡大

#### 施策(1) 政策・方針決定の場への女性参画促進

事業	令和3年度実施状況	評価
審議会・委員会等への女性委員の登用促進 <b>【政策推進課】（全課）</b> 《事業内容》 女性の意見を市の政策や方針に反映させるため、各種審議会・委員会等への女性の積極的な登用を図ります。	各種審議会・委員会等に占める女性委員の割合 23.1%（令和3年4月1日現在） 総委員数1,022人 うち女性委員数 236人  《評価・課題等》 目標値に達するためにも、女性の人材の各種審議会・委員会等の委員への登用を引続き推進していきます。	C
女性人材リストの整備 <b>【政策推進課・生涯学習課】</b> 《事業内容》 審議会・委員会等の委員の選任に活用できるよう、人材に関する情報を収集・整備します。	県が主催する指導者研修修了者や、市主催の女性講座修了者等の名簿を整備しました。  《評価・課題等》 今後も生涯学習課と協力しながらリストの整理を進めていきます。	A

#### 施策(2) 人材育成の推進

事業	令和3年度実施状況	評価
女性団体連絡協議会の連携と支援 <b>【政策推進課】</b> 《事業内容》 女性の活躍推進を目的に、女性団体の育成を推進し、組織の活性化を図ります。	男女共同参画社会の実現を目指して、女性の地位の向上と、住みよいまちづくりに貢献することを目的に組織されている大田原市女性団体連絡協議会の自主性を尊重しながら連携を図り、協力体制の強化を図りました。 加入団体：7団体 《評価・課題等》 団体の活動を支援していくとともに、新規加入に向けて働きかけをしていきます。	B
リーダー人材育成 <b>【政策推進課】</b> 《事業内容》 市民のリーダーとして活躍できる人材を育成するため、国内で実施している男女共同参画に関する講座や研修への参加を促します。	・とちぎウーマン応援塾 期 日：令和3年7月～11月（全7回） 場 所：パルティ とちぎ男女共同参画センター 参加者：1人  参加していただいた方に、審議会・委員会等でも活躍していただけるよう働きかけをしていきます。	A

施策の方向2 働く場における男女共同参画の推進（女性活躍推進計画）

施策(1) 働きやすい職場環境の整備

事業	令和3年度実施状況	評価
<p>雇用均等に関する周知 【商工観光課】</p> <p>《事業内容》 事業主に対して、男女雇用機会均等の確保や、多様な働き方のニーズに対応した就業環境づくり等の情報を提供するなど、周知に努めます。</p>	<p>市庁舎等に男女雇用機会均等月間ポスターの掲示やリーフレットを設置し、周知を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 今までは掲示や設置などの手法のみでありましたが、今後もう少し積極的なPR方法も考えたいと思います。</p>	B
<p>育児・介護休業制度の普及啓発 【商工観光課・総務課・政策推進課】</p> <p>《事業内容》 市内企業に対し制度の普及啓発活動に積極的に取り組めます。</p>	<p>○市庁舎等に育児・介護休業制度の普及啓発ポスターの掲示やリーフレットを設置し、周知を図りました。</p> <p>○庁内ネットワーク掲示板により、全職員に周知、及び育児・介護休業制度に該当する職員に対して、パンフレット等による説明・周知を行いました。</p> <p>《評価・課題等》 ○今までは掲示や設置などの手法のみでありましたが、今後もう少し積極的なPR方法も考えたいと思います。 ○今後も庁内へ向けて周知を行っていきます。</p>	A
<p>男女共同参画推進事業者表彰 【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 男女共同参画に対して積極的な取組を行っている事業者を表章します。</p>	<p>令和3年度受賞者 大田原信用金庫 那須土木株式会社 吉岡食品工業株式会社</p> <p>《評価・課題等》 男女共同参画に対して積極的な取組を行っている事業者を募集し、表彰及び公表することにより、事業者の積極的な取組を啓発することができました。また、市HPで事業者の活動の様子や取組の詳細を紹介することで、多くの市民に男女共同参画の意識づけができました。</p>	A
<p>女性活躍推進事業（再掲） 【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 社会に出る以前の在学時から男女共同参画教育の推進を図るとともに、男性への男女共同参画の意識の醸成を図るため、学生や一般市民、勤労者に向けて講座や講演会を実施します。</p>	<p>・キャリアデザイン講座（黒羽高校） 期 日：令和3年9月10日 場 所：黒羽高等学校体育館 ※8月24日に中止決定</p> <p>・キャリアデザイン講座（大田原高校） 期 日：令和3年11月11日 場 所：大田原高等学校 各ホームルーム（オンライン開催） 参加者：634人（男性634人、女性0人）</p> <p>・親子ヨガ教室 期 日：令和3年10月13日（中止）、11月25日 場 所：トコトコ大田原子ども未来館レクリエーションルーム 参加者：3人（男性0人、女性3人） ※募集人数を縮小し開催</p>	A

	<p>《評価・課題等》</p> <p>大田原市地域女性活躍推進事業は、大田原公共職業安定所や市内高等学校と連携し講座を開催するなど、それぞれの年代や立場に合わせた講座内容となっており概ね好評を得ています。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、実施可能な事業を行いました。</p>	
<p>各種ハラスメント防止に関する普及啓発</p> <p>【商工観光課・総務課・政策推進課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、パタニティ・ハラスメントの防止に向けて、事業者や労働者、市民に向けた広報・啓発を行います。</p>	<p>○大田原市職員研修計画に基づき管理職および中堅職員向けの研修を実施しました。</p> <p>・パワーハラスメント防止研修（県市町村振興協会）2名</p> <p>・ハラスメント研修（那須地区広域行政事務組合）30名</p> <p>○「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律」等の改正に伴い、新たに「大田原市職員のハラスメント防止等に関する指針」を制定し、庁内ネットワーク掲示板により全職員に周知を行いました。</p> <p>○市庁舎ほか関係施設にセクハラ被害等各種ハラスメントに関する相談窓口周知のポスターの掲示、パンフレット等の配置をおこないました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>○市の管理者向けに、ハラスメント防止のための各種研修を実施しました。また、今後も庁内へ向けて周知を行っていきます。</p> <p>○今までは掲示や設置などの手法のみでありましたが、今後もう少し積極的なPR方法も考えたいと思います。</p>	A

## 施策(2) 起業・再就職への支援

事業	令和3年度実施状況	評価
<p>職業能力開発の周知</p> <p>【商工観光課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度等の支援策の情報提供に努め、求職者や在職者のスキルアップを支援します。</p>	<p>市広報紙に職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度の周知のため、情報提供をおこないました。また、市庁舎にセミナーポスターやリーフレットを設置し、周知を図りました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>今までは掲示や設置などの手法のみでありましたが、今後もう少し積極的なPR方法も考えたいと思います。</p>	B
<p>再就職希望者への支援</p> <p>【商工観光課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>子育て中の女性等の再就職希望者に対して、合同面接会や各種支援策等の情報提供に努めます。</p>	<p>市庁舎に公共職業安定所や県などが実施している再就職希望者への職業訓練等のポスターやリーフレットを設置し周知を図りました。また、大田原市雇用創造協議会において「高齢者、子育て世代の女性等活用講習会」及び「女性の就職相談会」をそれぞれ2回開催しました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>大田原市雇用創造協議会解散後も、可能な限り再就職支援事業を進めていきたいと思っています。</p>	A
<p>地域職業訓練センター利用の促進</p> <p>【商工観光課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>職業訓練講座を開設し、求職者の職業訓練や在職者のスキルアップに努めます。</p>	<p>大田原市職業訓練センター利用促進及び講座受講者のスキルアップを図るため、講座案内等を市広報紙に掲載しました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>今後も引き続き、就職に備えた訓練及び既就職者の能力アップのため、広報活動を推進していきたいと思っています。</p>	B

<p>求人開拓事業の実施 【商工観光課】</p> <p>《事業内容》 大田原公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、雇用機会の維持及び就労機会の拡大を図ります。</p>	<p>大田原市公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、講演会や視察など各種事業を推進し、雇用機会の維持及び就職機会の拡大を図りました。</p> <p>《評価・課題等》 関係機関との関係は良好であり、雇用機会の維持及び就職機会の拡大につながっていると思われます。</p>	A
<p>女性起業家の育成支援 【商工観光課・政策推進課】</p> <p>《事業内容》 起業学習プログラム「創業塾」との連携を図り、女性起業家の育成を支援することによって性別にとらわれない豊かな人材の育成を図ります。</p>	<p>本市創業支援等事業計画の創業支援事業者である大田原商工会議所において創業スクールを実施しました。</p> <p>《評価・課題等》 関係団体との連絡を密に取り、引き続き女性起業家の育成支援を推進していきます。</p>	A

施策(3) 農業等における男女共同参画の推進

事業	令和3年度実施状況	評価
<p>農村女性リーダーの育成 【農政課・農業委員会】</p> <p>《事業内容》 女性農業士の育成のため、相談や団体の支援を行います。</p>	<p>○令和3年度は女性農業士を1人推薦し、県より認定されました。 ○県等が主催する研修会や情報交換会等に参加した他、独自事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期日：令和3年6月5日(土) 大田原市農業委員会主催「女性のための農機具講習会」 参加者：一般女性19名 農業委員8名 事務局3名</li> <li>・期日：令和3年6月9日(水) とちぎ女性農業委員の会主催「とちぎ女性農業委員の会第1回役員会」(Web開催) 参加者 委員1名 事務局1名</li> <li>・期日：令和3年10月4日(月) とちぎ女性農業委員の会主催「とちぎ女性農業委員の会第2回役員会」 参加者 委員1名 事務局1名</li> <li>・期日：令和3年11月5日(金) 関東都県女性農業委員の会主催「関東ブロック女性農業委員等研修会」 参加者 委員4名 事務局1名</li> <li>・期日：令和3年12月9日(木) とちぎ女性農業委員の会主催 「女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員研修会」 参加者 委員4名 事務局1名</li> <li>・期日：令和4年2月10日(木)【中止】 大田原市農業委員会主催「農業女子のつどい」</li> <li>・年11回(4/20・5/21・5/27・6/21・7/20・10/21・11/22・12/20・1/21・2/21・3/22)開催 チームあゆみ(大田原市女性農業委員)打合せ会 参加者 委員4名 事務局2名</li> </ul>	A

	<p>《評価・課題等》</p> <p>○女性農業士の育成のため、相談や支援を行ってきた結果、新規に女性農業士を1人認定することができました。</p> <p>○コロナ禍での研修会のため、オンラインで開催されるものがありました。今後開催される研修会等にも積極的に参加していきます。また、独自事業も計画開催し、多方面からの支援も行っていきます。</p>	
<p>農村生活研究グループ協議会への支援</p> <p>【農政課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>女性農業者を中心とする農村生活研究グループ協議会への支援を行うことで、農業に携わる女性の活動を支援します。</p>	<p>会員有志で郷土料理の三五八床の袋詰め及び仕込みを行いました。昨年度仕込んだ完成品は、主に与一の郷ごころ便の商品として出荷を行いました。</p> <p>・三五八床袋詰め 期日：7月12日(月) 16名参加</p> <p>・三五八床仕込み 期日：1月22日(土) 16名参加</p> <p>また、会員有志で菜の花を栽培し、収穫した種を用いて菜種油の作製を行いました。</p> <p>・菜の花の栽培 令和3年秋ごろから</p> <p>・菜種油絞り 期日：10月23日(土) 14名参加</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け例年の研修会等の開催が困難であったところ、できるところから前向きに取り組んでいただいています。</p>	B
<p>女性農業者のエンパワーメント(※)の促進</p> <p>【農政課】</p> <p>《事業内容》</p> <p>産業の確立と「とちぎの農業・農村男女共同参画ビジョン」の推進に向け、女性農業者に対して認定農業者への誘導を行います。</p>	<p>地域農業での女性の活躍を推進するため、女性認定農業者への誘導を行いました。令和3年度末の本市女性認定農業者数は61人です。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>女性農業者が輝く環境を更に推進するために、より一層の指導・誘導を行っていきます。</p>	B
<p>農業分野における女性起業家の育成支援</p> <p>【農政課】</p> <p>経済的に自立でき、継続性のある女性起業家の育成支援を行います。また、6次産業化への支援を行います。</p>	<p>例年、市農村生活研究グループで視察研修等を行っていますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止となりました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>本年度は事業の大半が中止となってしまいましたが、今後は社会情勢を踏まえながら、実施できる事業を増やし、女性の自立化、起業家の育成を促していきます。</p>	-
<p>家族経営協定推進事業</p> <p>【農業委員会】</p> <p>《事業内容》</p> <p>家族従業者として農業に携わる女性が、男性と対等なパートナーとして経営に参画できるよう、家族間のルールづくりを支援するとともに、家族経営協定の締結を推進します。</p>	<p>認定農業者の申請及び農業者年金加入の際に、市農政課等と連携して協定締結に向けた推進活動を行いました。</p> <p>その結果、新たに11件の協定書が締結され、累計締結件数は387件となりました。また、5件の協定書見直しを行いました。</p> <p>《評価・課題等》</p> <p>昨年度同程度の締結がありました。今後も農業員会だより等で制度利用のメリットを周知し締結の促進を図るとともに、締結内容の見直しについても周知を行います。</p>	A

(※) エンパワーメント：女性が自分自身の生活と人生を決定する権利と能力を持ち、様々なレベルの意思決定過程に参画し、社会的・経済的・政治的な状況を変えていく力を持つことを意味します。

### 施策の方向3 地域社会への男女共同参画の促進

#### 施策(1) 市民活動との連携・支援

事業	令和3年度実施状況	評価
<p>男女共同参画地域推進員との連携と支援</p> <p>【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 県が委嘱する栃木県男女共同参画地域推進員の活動に対し、連携や情報提供等の積極的な支援を行います。</p>	<p>男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の推進と女性問題の課題解決を図るための積極的な地域活動を目的に組織されている男女共同参画地域推進員大田原市連絡会と連携を図り、啓発活動に努めます。</p> <p>地域推進員：15人（男性2人、女性13人） ※令和4年3月31日現在</p> <p>《評価・課題等》 女性の登録者が2名増加しました。 引き続き、より一層の登録促進への働きかけが必要だと思われます。</p>	B
<p>商工会議所等女性部への支援</p> <p>【商工観光課】</p> <p>《事業内容》 女性の力で地域を元気にするため女性経営者で組織された、大田原商工会議所女性部の活動に対して支援を行います。</p>	<p>商工会議所を通じ、商工会議所女性部の活動支援をおこないました。</p> <p>《評価・課題等》 今後も継続して支援をおこないます。</p>	A
<p>女性団体連絡協議会の連携と支援（再掲）</p> <p>【政策推進課】</p> <p>《事業内容》 女性の活躍推進を目的に、女性団体の育成を推進し、組織の活性化を図ります。</p>	<p>男女共同参画社会の実現を目指して、女性の地位の向上と、住みよいまちづくりに貢献することを目的に組織されている大田原市女性団体連絡協議会の自主性を尊重しながら連携を図り、協力体制の強化を図りました。</p> <p>加入団体：7団体</p> <p>《評価・課題等》 団体の活動を支援していくとともに、新規加入に向けて働きかけをしていきます。</p>	B

施策(2) 防災活動における男女共同参画の促進

事業	令和3年度実施状況	評価
<p>地域での防災活動への参加促進 【危機管理課】</p> <p>《事業内容》 男女双方の視点で防災活動や避難所運営を行うことができるよう、女性の防災活動への参画を推進します。</p>	<p>R2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、市防災訓練が中止となった(R01_参加者181名のうち女性67名)ほか、自治会活動の自粛等、前年に比べて、女性の防災活動への参画の機会は大幅に減少しました。</p> <p>その他消防団に関しては、R3年度団員数917名のうち女性消防団員は15名でした。(R02_935名のうち23名)</p> <p>《評価・課題等》 R4年度では地区を限定して、小規模での開催を予定しています。また、自治会の総会に合わせ、防災係職員を講師とした防災講話等を行っています。コロナ禍のため人数は絞られますが、防災意識を持っていただくことで、防災面での女性活動のきっかけになると考えられます。</p>	-
<p>防災士資格取得の促進 【危機管理課】</p> <p>《事業内容》 地域防災のリーダーとしての女性の活躍を推進するため、防災士資格取得を促進します。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、R3年度の開催は中止となりました。R2年度開催時の受講者は13名であり、うち女性の受講者は0名でした。</p> <p>《評価・課題等》 開催要件に「50名以上の受講者を確保すること」と明記されているため、市単独での開催が厳しい状況です。那須町との共催を検討していますが、開催できるかどうか現時点では不明です。</p>	-